

お客様がDell Unity XT ハイブリッドフラッシュアレイ を選ぶ主な理由

Unity XTハイブリッドフラッシュアレイ(HFA)は、オールフラッシュ/NVMeの高速性やレイテンシーの低さが求められる汎用ワークロードを実行する中小企業にとって魅力的なストレージソリューションです。これらのプラットフォームでは、手頃な価格でシンプルな管理、オールインワンの革新的なソフトウェア、ハイブリッドクラウドを独自に組み合わせて統合します。

1 | 革新的なソフトウェアベースのパフォーマンス

汎用性に優れたUnity XT HFAは、オールフラッシュの速度や低レイテンシーを必要としない汎用ワークロードに対して優れたパフォーマンスを発揮します。Unity XT HFAの設計は、複数のソフトウェアベースのパフォーマンス機能によって支えられていますが、中でも期待されるI/O速度を実現する上で重要な機能は、動的なオンラインSSD縮小/拡張機能をサポートする自動化されたポリシーベースのFAST Cache (SSD読み取りキャッシュ) パフォーマンスソフトウェアです。

2 | 革新的なソフトウェアベースの効率性

Unity XT HFAは、管理、データサービス、DevOpsなどのIT運用とのソフトウェアベース統合をはじめとした、アーキテクチャのあらゆる面で効率性を高めるよう高度に最適化されています。効率性を高めるUnity XT HFAの機能としてまず挙げられるのは、OpExを削減して使用率を向上させることができるインラインデータ削減ソフトウェアです。この効率性機能は、自動化されたポリシーベースのFAST VP (Fully Automated Storage Tiering for Virtual Pools : 仮想プール向け完全自動ストレージ階層化) ソフトウェアソリューションによって強化されます。これによって、ストレージ要件をデータアクセス頻度の変化に動的に合わせます。

3 | 包括的なマルチクラウドソフトウェアオプション

Unity XT HFAは、ハイブリッドクラウド環境への接続を簡単にする複数のソフトウェアテクノロジーに基づいた数多くのクラウド導入オプションをサポートしています。このようなクラウド導入オプションの一部では、導入を完了するためにVMware Cloud Foundation、VMware ESXi、非同期レプリケーションなどのテクノロジーを利用します。これらのテクノロジーを個別にまたは組み合わせて実装すると、ファイル/ブロックの階層化を実行し、Unity XTの仮想アプライアンスをクラウドに配置し、マネージドサービスプロバイダーを介して利用可能なクラウドのワークロードとサービスにアクセスできます。

4 | オールインワンソフトウェアモデル

各Unity XT HFAには、データの保存、管理、保護に必要なソフトウェアがすべて付属しており、追加コストはかかりません。総合的なソフトウェアポートフォリオには、Unisphereの管理、インラインデータ削減、FAST CacheとFAST VP、ユニファイドスナップショット、静止データの暗号化、統合同期/非同期レプリケーション、ファイル用のMetrosync Manager、QoS、IPマルチテナンシー、ファイルレベル保存期間設定、DevOpsプラグインテクノロジーへの無料アクセスが含まれています。

5 | 管理のシンプルさ

Unity XT HFAは、直感的で使いやすいUnisphere管理GUIをはじめとした、ミッドレンジ ストレージの究極のシンプルさを体現しています。Unisphereによって単純なユーザー環境が提供されるため、わずか数分でアレイを構成して本番稼動モードに移行することができます。Unisphereを使用すると、すべてのストレージと仮想化リソースを明確に可視化し、ビデオやドキュメントなどにアクセスできるセルフサービス ポータルを利用できます。また、従来のVNXおよびUnityアレイとサードパーティ製システムからUnity XTにデータを移行する機能が組み込まれています。

6 | 拡張性のある広範なファイル システム

Unity XT HFAは、従来のNAS環境でも、堅牢で多機能な256TBuファイル システムをサポートするトランザクションNAS環境でも動作します。Unity XTは、あらゆるデータ タイプの統合とコスト削減を可能にするストレージへの統合アプローチで定評があります。組み込みのファイルまたはNASアーキテクチャは、ファイルを一元化して共有し、すべての人がいつでもどこでも簡単にアクセスできるようにするのに最適な手段となります。

7 | ソフトウェアデファインド ストレージ

Unity XT仮想ストレージ アプライアンス(Dell UnityVSA)は、Unity XTの物理アレイの機能と管理性を失うことなくオンプレミスに導入できる低コストで大容量の仮想ソリューションです。同じ仮想ストレージ アプライアンスのCloud Editionも、AWSクラウドに導入するためにVMware Cloudで提供されます。各実装により、NASおよびiSCSI SANプロトコルを使用して共有ストレージを作成し、業界標準のサーバー ハードウェアでUnity XTデータ サービスを使用できます。

8 | 信頼性の高いデータ保護ソフトウェア

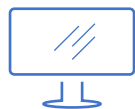
Unity XT HFAは、企業データと顧客データを保護できるように、シンプルさおよびコストと複数のネイティブ データ保護ソフトウェア ソリューションを最適に組み合わせて提供します。ローカル ノード、リモート ノード、metroノードのどの距離レベルの保護が必要な場合でも、ファイル、ブロック、vVolデータが安全であることを確信できます。Unity XTは、Dellの総合的なデータ保護システム スイートで完全にサポートされています。

9 | DevOpsソフトウェアの統合

コンテナは瞬く間にソフトウェア アーキテクチャの新しい枠組みになりつつあり、Kubernetesはコンテナ オркестレーション プラットフォームの人気の選択肢として浮上してきました。Dell・テクノロジーズは、ソリューションの開発に重点を置いています。これにより、コンテナ化されたワークロードをお客様が効率的に実行しつつ、DevOpsワークフローでパワフルなストレージ統合を活用できるようになります。Container Storage Interface (CSI)プラグインのサポートによりUnity XTの運用を簡単に拡張できます。また、IT調達に関する議論の主要なテーマは、オートメーションです。幸いなことに、オートメーションは、プログラミングに大きく依存し、維持が困難なスクリプト作成を意味するものではなくりました。VMware vRealize Orchestrator (vRO)などのツールによってドラッグ アンド ドロップ環境が提供され、これによりインフラストラクチャの運用とサービス提供タスクをすばやく自動化できます。また、Unity XTではDellのvROプラグインをサポートしているため、インフラストラクチャ スタック全体にわたるエンドツーエンドのワークフローを自動化できます。

10 | 主要都市間の距離での同期レプリケーション

metroノードはUnity XT HFA向けの独立したアドオン機能であり、主要都市間の距離で真のアクティブ/アクティブ同期レプリケーションを提供します。また、ワークロードを中断することなく再配置することによって、アプリケーションのダウンタイムを発生させることなくテクノロジーを更新できるようにします。両方のサイトで同時に書き込みを行うことができ、ゼロ ダウンタイムと等しい目標リカバリー ポイント(RPO)と目標リカバリー時間(RTO)をサポートする唯一のソリューションでもあります。



Dell Unity XTソリューションの
[詳細情報](#)



デル・テクノロジーズのエキス
パートに問い合わせる



他のリソースを[表示](#)



#UnityXTで会話に
参加